

五月下旬から六月上旬に咲き、良い芳香を漂わします。(駐車場脇の菩提樹)



写経をしてみませんか！
毎月第一土曜日午後七時から寿楽院本堂西の間で
ままに写経に参加していただいています。
何も持たずにおいでいただいても写経できます。
気楽に参加ください。



寿楽院写経風景

写経してみませんか！

仏教が生んだ日本語

“迷惑”

「他人に迷惑をかけないようにしましょう」とか「多大な迷惑を被った」などと言われるこの迷惑は、現代では不利益とか不都合という意味に使われるようである。しかし、迷は道に迷うことを意味し、惑は途方にくれてとまどう事を意味する。本来は迷いとまどうことを意味する仏教語である。

今年もきれいに咲いた藤



菩提樹のつぼみ



弘法さんは、生の始めに暗く、死の終わりに冥しと、暗と冥をつかい分けている。暗は、自分が生まれる四代も前から、生まれるという経験をしているのに、人はなぜ生かされているのか、誰も知らない。目の前が真っ暗闇のまま生まれてきた。死もまた四代にもわたって経験しているのに、人はなぜ死ぬのかわからないまま、みんな冥土旅立つのである。

では、冥土で立派に生きるための「冥土」の世に何をすればいいのか？

古くから、親族の中より一人出家せば、九族天に昇るといふ。

弘法さんのように、冥土での生き方を悟り、それをこの世で実践している人は、その人の一族と、過去四代の4族と、合わせて九族が天国に昇ることができるといわれているのである。

空海の言葉 シリーズ

生の始めに暗く、死に終わりに冥し

人間は何度、生き死にを繰り返しても、なぜ生まれるか、なぜ死ぬのかを知らない